# 楠の子



佐賀県立中原特別支援学校「学校新聞」

第 7 号

令和4年3月24日発行(総務・広報部)

## 「大切なことは目に見えない」(本校舎高等部主事 大渕栄一)

活字を読むのがどちらかというと苦手で、小学生のころは「魚」「動物」「昆虫」などの図鑑ばかり見ていました。その成果なのか今でも「動物園」や「水族館」が好きで、暇な時間ができれば魚釣りに行き大海原を眺めています。

けど、私にも大好きな本があります。それは、サハラ砂漠に不時着したパイロットが、他の星から来た王子様と出会う所から始まる物語で、サン=デグジュペリ作の「星の王子さま」です。その物語の中の「大切なことは目に見えないんだよ」という「きつねさん」の言葉が大好きです。

11 日に分校舎、12 日に本校舎の卒業式が挙行されました。本校高等部では2月の末から3年生の卒業に向けて「音楽発表会」「3年生を送る会」などを開催しました。卒業生の学年は、コロナの影響で実施できた行事がとても少なかったため、心に残る思い出を作ってあげようと1,2年生の後輩や先生方が一生懸命工夫を凝らされていました。送る会では一人一人の紹介ビデオを作られたり、先輩へ送る色紙を生徒が楽しくデザインしたり・・・・職業コースでは先輩に贈る歌やダンスを繰り返し練習したり・・・・

卒業式の前日、卒業生の教室や廊下を後輩や先生で飾りつけていた時の一場面です。「こうした方がきれいじゃない?」「こんな絵を描いたよ」など、みんなの目は楽しそうだけど真剣そのもの。思い出に残る旅立ちにしてあげたいという3年生を想う気持ちがひしひしと伝わってきました。そういう気持ちが、みんなの心の中に育ってきたのは、3年生が、この学校で後輩や先生たちと一生懸命作業や学習に取り組み、体育館や運動場で一杯遊び、大切な時間を一緒に過ごしてきたからこそだと思います。

この学校は他の高校と違い、大学の合格率が・・資格が・・・大会で全国・・・など目に見えるものが少ないかもしれません。しかし、きつねさんが言う「目に見えない」大切なものをたくさん心に蓄え、自信を得ることができたことと思います。また、「目に見えないもの」は、自身の心の財産になり、これからも誰からも奪われることがありません。

これも「星の王子さま」の中のものですが、「問題は大人になることじゃない。 忘れること」。この言葉にあるように、中原で育てた、人を想う気持ち、感動する 心、困難に負けない心をいつまでも忘れることなく新しいステージでゆっくりと あせらず歩んでくれることを願います。「卒業おめでとうございます」



# 「たくましく、のびのびと成長しています!」(本校舎小学部5年生)

特活「ゴーゴータイム」では、いくつかの遊びの中から自分がしたい遊びを選び、じゃんけんや多数決で決めました。活動中は、友達を誘ったり、応援したりして友達を意識して遊びました。「花いちもんめ」や「押し相撲」で盛り上がりました。

中原小学校との間接交流では、5年生みんなで中原小からの ビデオレターを見ました。一緒に踊ったり、お話ししたりして、 とても楽しかったです。





### 「ご卒業おめでとうございます!」(本校舎中学部)

3月12日(土)に卒業証書授与式が挙行され、中学部では、12名の生徒が卒業しました。あらゆる場面で後輩たちをリードしてくれた3年生は、式でも大きな声で返事をし、堂々と卒業証書を受け取っていました。新型コロナウィルスの流行で、昨年度から活動が制限され、行事の縮小や修学旅行の中止など様々な試練が続きましたが、その中でも、できることを最大限に楽しむ姿を見せてくれました。高等学校や高等部に進学しても、前向きに自分らしく頑張って欲しいと思います。ご卒業おめでとうございます。







# 「卒業式」(分校舎)

3月11日に東佐賀病院、肥前精神医療センター、若楠療育園で、卒業証書授与式を行いました。小学部2名、中学部2名、高等部7名の児童生徒が卒業しました。コロナ禍の中、短時間でしたが、病院や園のご協力のもと、心温まる式となりました。

卒業生の皆さん、皆さんの笑顔で先生たちはいつも元気をもらっていました。これからも笑顔で元気 に過ごされることを祈っています。ご卒業おめでとうございます。













#### 「楽しかった思い出を胸に」(鳥栖田代分校)

3月12日の卒業証書授与式では、小学部1名、中学部2名の児童生徒が卒業しました。人生の大きな節目である式典の厳かな雰囲気の中、立派に卒業証書を受け取ることができました。各学部を牽引していた3名が卒業し、寂しくなりますが、新たな環境でも、いままで培ってきたことを胸に、それぞれの力を発揮してほしいと思います。







#### 【編集後記】

各地から桜の便りが届くうららかな季節になりました。3月は卒業式や修了式があり、笑顔と涙でいっぱいの時期。早いもので今年度の「楠の子」もこの号が最後となりました。年に7回の発行を目標にしていましたが、皆様の協力のおかげで無事に予定どおり全てを発行することができました。学校のホームページでも閲覧できますので、ご覧いただければと思います。

(総務・広報部)